

国際法学会 2017 年度研究大会
公募審査結果

2017 年 3 月 24 日
研究企画委員会

国際法学会の 2017 年度研究大会における個別報告とパネルを公募しておりましたところ、多数のご応募を頂き、誠にありがとうございました。研究企画委員会において審査を行いました結果、下記のように採用が決定されましたので、お知らせします。

なお、順番は必ずしも報告順ではありませんので、その旨ご了解ください。

記

1. 個別報告

- (1) 坂田雅夫 (滋賀大学准教授) 「投資協定仲裁における国内法の位置付け」
- (2) 瀬岡直 (近畿大学特任講師) 「政府承認の要件論に関する近年の動向—リビア紛争を素材として—」
- (3) 中井愛子 (日本学術振興会特別研究員) 「ラテンアメリカの外交的庇護をめぐる法的争点と展望」
- (4) 松浦陽子 (東北学院大学准教授) 「国家不承認の国際法上の意義—いわゆる「イスラム国 (IS)」の事例を中心に—」

2. パネル

- (1) 「グローバル時代の国際法における国際行政法アプローチの今日的意義」

企画責任者兼座長：柳 赫秀 (横浜国立大学教授)

報告者①：猪瀬貴道 (北里大学准教授) 「投資条約仲裁による行政措置の国際基準形成」

報告者②：雨野統 (中央大学兼任講師) 「冷戦後の安保理の機能変化の国際行政法からの検討」

報告者③：石井由梨佳 (防衛大学校専任講師) 「国際刑事法廷に対する犯罪人引渡義務と国際行政法」

コメンテーター①：興津征雄 (神戸大学教授)

コメンテーター②：小林友彦 (小樽商科大学准教授)

- (2) 「国際連合 (国連) の金融制裁の法的問題—金融制裁の正統性・実効性の追求—」

企画責任者：吉村祥子 (関西学院大学教授)

座長：中谷和弘 (東京大学教授)

報告者①：久保田隆 (早稲田大学教授) 「国連金融制裁の国家による履行と法的問題—米国の制裁関連法令を中心に—」

報告者②：柳生一成 (亜細亜大学非常勤講師) 「国連金融制裁の私人等に対する適用と法的問題—EU の事例を中心に—」

報告者③：吉村祥子（関西学院大学教授）「国連金融制裁の発動時における法的問題—金融制裁の正統性及び実効性に関する一考察—」

（３）「国際的な破綻処理の現代的課題」

企画責任者：森下哲朗（上智大学教授）

座長：多田望（西南学院大学教授）

報告者①：藤澤尚江（筑波大学准教授）「国際倒産法制の現状と課題」

報告者②：小池未来（同志社大学博士課程）「国際倒産法に関する UNCITRAL の取組み」

報告者③：嶋拓哉（北海道大学教授）「国際的な金融機関の破綻処理を巡る諸問題」

報告者④：井出ゆり（アンダーソン・毛利・友常法律事務所パートナー）「国際的な破綻処理・事業再生実務における法的課題」

報告者⑤：森下哲朗（上智大学教授）「国家債務再編に伴う法的諸課題」

以上